

千葉県議会議員 「我孫子無所属の会」代表
(我孫子市選出・無所属)

水野ゆうき

ゆう
Can Change!

2015年

県議会・活動報告 vol.18

水野ゆうきは
県政・議会・議員の見える化を
推奨しています。

ブログ <http://ameblo.jp/yuukimizuno/> Facebook 水野友貴 twitter @yuukitten



災害はいつ起るかわからない! 徹底した連携と防災意識の向上!

10月22日に平成27年度第2回定例千葉県議会が閉会しました。今議会において、水野ゆうきは9月に発生した鬼怒川の決壊や首都直下型地震に備えた「防災」に集中して県と審議をおこないました。

▶ 災害時における県と市町村の情報共有体制

関東・東北豪雨で鬼怒川の堤防が決壊して大きな洪水被害を受けた茨城県常総市。茨城県と常総市の災害時の安否不明者をめぐる情報公開のあり方が問われました。個人情報保護を理由に行方不明者の氏名を公表しなかったため、安否確認が進まなかったことが一因とされています。昨年9月の御嶽山の噴火で、長野県は個人情報を理由に行方不明者の氏名公表を見送り、また同8月の土砂災害で広島市は行方不明者のリストを公表するなど、災害時における個人情報の扱い方に差があることが全国的に問題視されています。

II 千葉県は??

水野: 千葉県の災害時における市町村との情報共有の体制は?

県答弁: 災害時は市町村とオンラインで県は情報共有を行っている。オンラインに支障があった際はFAXや電話のやり取りで共有をし、情報にズレがないようにしている。

災害時は個人情報より人命を優先すべきであり、県内それぞれの基礎自治体(市町村)の個人情報の考え方の差異により、県が安否を把握できないということがあってはならないことから、災害時の際の情報公開・共有の在り方は基礎自治体は統一すべきと要望。県からは**災害時は個人情報よりも人命を優先する**との明確な答弁を引き出しました。

▶ 県民の防災意識向上のための施策

東京都作成の防災ハンドブック「東京防災」の配布が開始されました。東京都の全一般家庭に配布される「東京防災」は子どもから大人まで見やすく、都民の防災意識の啓発に役立っています。千葉県でも首都直下型地震を想定して、県民の防災意識を広く向上させる同様の取り組みの必要性を質問しました。「東京防災」は災害時のシミュレーションもあり、アイドルグループを活用したり、子どもも興味を引く内容になっていることから都民から大変好評です。県民の防災意識啓発のためにポータルサイトなどがあるとした上で、「東京防災」は非常にわかりやすいことから、千葉県としても検討に入ります。

II 千葉県防災ポータルサイトにて県内の災害情報をリアルタイムで確認することができます。
<http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/portal/>

▶ 我孫子市内における県道沿いの危険箇所を伐採!

我孫子市教育委員会・水道局に向かう県道(通称:船取線)沿いの木が生い茂り、危険な状態となっているとの一報を市議・市民から受け現場視察し、県の管轄であったために早急に県と協議。入札手続き後に伐採が行われ、道路の見晴らしが良くなりました。



▲千葉県消防学校で行われた空気呼吸器装着訓練を視察



▶ 一般国道356号整備促進期成同盟の顧問として要望活動

我孫子市民が生活主要道路として活用しているのがまさに国道356号線であり、基礎自治体議員の時から市民から道路の要望を受けていた身として、なんとか整備を促進して生活の根幹である道路の財源確保に努めていただきたく、基礎自治体の力だけでは難しいので、広域的に連携・協力し合いながら有効な道路整備を促進していただきたいと一般国道51号整備促進期成同盟、一般国道356号整備促進期成同盟、県道成田小見川鹿島港線整備促進協議会、関係自治体の首長の皆様とともに県土整備部長に要望しました。

～水野ゆうき（『我孫子無所属の会』代表）としての考え～

水野ゆうきが所属する総務防災常任委員会に付託された請願：「消費税増税中止を求める意見書の提出について」は、共産党、維新、社民、無所属（水野）等の議員が紹介議員となりました。

総務防災常任委員会（※委員会構成：自民党7名、民主党2名、公明党1名、千葉県民の声1名、我孫子無所属の会1名）では私が唯一の紹介議員であり、たった一人で賛成しました（結果委員会・本会議とも不採択）。

2014年の4月に消費税が5%から8%になったことにより庶民の生活は苦しくなっています。更に10%に引き上げの際には、軽減税率の導入の決定やその内容がセットで示されるべきと考えており、単に増税反対ということではありません。本来であれば社会保障という名目で増税しているわけなので、その使い道についても更に精査するべきであり、具体策を提示することが前提だろう、というのが私の主張のため、無条件での増税は賛成しかねます。

水野ゆうきは、いかなる党・会派の発議のものであろうと内容によって賛同すべきものには賛同し、反対すべきものには反対します。

新しい活動が始まりました！ — 活動報告 —

▶ 「すべての子どもに、温かい家庭を」～社会的児童養護や里親制度～

経済的困窮や、実親からの虐待などで、保護者と暮らせなくなってしまった子どもたち、家庭にも学校にも居場所がない子どもたちを救うため、そして児童養護（社会的養護）に対する知識・解決策を共有するために、2015年7月1日に事業者・当事者/地域住民/有識者/政治家・議員/行政のネットワークとして「**こども@ホーム推進委員会**」(<http://kidshome.jp/>)を設立し、ボードメンバーとして活動開始。千葉県議の立場から行政に働きかけていきます。

8月に開催した『こども@ホーム推進委員会発足記念特別イベント』では総司会を務め120名を超える参加者にお越しいただきました。



▲豊島よういち我孫子市議、つくば松実高等学校の皆さんとともに稲刈りや栗拾いをしたり、文化祭で交流を深めました。

▶ 東豊学園つくば松実高等学校の特別講師に就任

千葉県内でも不登校が大きな課題となっております。その背景には情緒不安、無気力、核家族化、生活リズムの乱れなど社会情勢や保護者の環境に左右されるものが多くなっています。自由な校風で、生徒一人一人に合わせた教育によって多くの生徒を卒業に導いている東豊学園つくば松実高等学校の特別講師に就任いたしました。1人でも多くの生徒と触れ合っ、生徒の皆さんが楽しい学校生活が送れるように尽力していきます。

千葉県内における不登校の現状	小学校	中学校	高校	※全て前年度より増加
	1158名(全体の0.36%)	3963名(全体の2.56%)	2939名(全体の2.82%)	

水野ゆうき メディア/講演会 主な出演実績

8～10月

- 小学館『Oggi』11月号「ホンモノの意識高い働く女子特集」
- 駿河台大学講義『ICT社会と情報リテラシー：政治編』
- 18歳選挙権に関する講演会登壇@三重県津市 各紙に掲載されました▶
- 『勝つ!政治家.com』男女4名、百花繚乱ブロガー議員対談
- 『The Huffington Post』にて政策や議会内容を定期的に執筆 等



水野ゆうきプロフィール

役職 千葉県議会議員（「我孫子無所属の会」代表、総務防災常任委員会委員、千葉県議会柔・剣道部）、千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問、手賀沼水環境保全協議会顧問、一般国道356号整備促進期成同盟顧問、市内グループホームNPO法人監事、地元自治会副会長

経歴 1983年2月19日生の32歳。我孫子市生まれ・育ち・在住。
我孫子市立第四小学校入学、米国ロサンゼルス現地校編入、ロサンゼルスインターナショナルスクール編入、帰国後は茨城県私立茗溪学園中学校編入、同校高校卒、津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。東証一部上場物流会社入社（秘書部秘書課秘書グループにて6名の役員秘書担当）。民放テレビ局勤務（報道局経済部所属・BSフジLIVE『PRIME NEWS』担当）。2011年我孫子市議会議員選挙3位当選。市議時代に我孫子市のPR、情報行政、ネット・メディア戦略に注力し、我孫子市の魅力発信に寄与。地方議会の実態を全国に伝え、地方政治の在り方を提唱。無投票を防ぐため、また女性の政界進出をめざし、政党にとらわれない地方政治の実現に向けて2015年4月に退路を断って千葉県議会議員選挙に出馬し、当選。

『我孫子ゆうき部』（水野ゆうき後援会）部員大募集！

水野ゆうきの政治活動・地域活動を支援して下さる事務員・部員を募集しております。詳しくは水野ゆうきホームページ(下記)、水野ゆうき Facebook までお気軽にご連絡ください。担当スタッフがご連絡させていただきます。